

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全		27年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト			
事務事業名	中川口通船門の地震・津波対策		継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7937 施設事務所、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	中川口通船門				事業 期間	平成25~29年度
	意図(どうい う状態に したいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。					
概要	中川口通船門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。					根拠 法令等	
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、機能の強化に併せて住民及び企業の生命・財産を守ります。					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
28年度の実施予定	中川口通船門の前扉室及び後扉室について耐震補強工事を実施します。					関連 シート	

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	中川口通船門の地震・津波対策として、前扉室右岸の耐震補強工事を進めるとともに、前扉室左岸、後扉室両岸の耐震補強工事に着手しました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	159,552	136,952	567,343	954,987	
人件費	千円	3,347	6,868	16,305	32,214	
合計	千円	162,899	143,820	583,648	987,201	

3 CHECK(検証)

指標名	26年度	27年度	28年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状 況(全4工程)	目標	2	3	3	4(累計)	既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事完 了	
	実績	2	3	3			
(進管理型)	事業進捗状況(28年度)			順調 やや遅れ・遅れ			
指標名	26年度	27年度	28年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
門扉補強工事の事 業進捗率(%)	目標	100.0			100(累計)	事業進捗率(目標・実績)は、出来高割合で す。	
	実績	100.0					
(進管理型)	事業進捗状況(28年度)			-			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	耐震補強工事完了に向け順調に進捗しております。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必 要 性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有 効 性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効 率 性	最小のコストとなっているか?	○					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
	継続	維持	維持	港の安全性向上に必要な不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく必要があるため。
課題				29年度以降の取組
背後地の安全性の向上に必要な不可欠な事業であり、着実に進めていく必要があります。				中川口通船門は、平成29年度の完了を目的に躯体の耐震補強工事を着実に推進していきます。